

# かけはし

赤の2組

～秋のダイナミックワールド号～

「秋のダイナミックワールド」において、赤の2組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。クラスごとの「かけはし」は、本園 Web サイト「園からのお便り」のページにも掲載する予定です。よろしければ、ぜひ、各クラスの遊びの様子もご覧ください。

大学キャンパスへ出掛け、紅葉した葉っぱや木の実を見つけるたびに、「秋見つけた!」「秋ってきれいだね」と言いながら、色とりどりの“秋”を見つけてきた子どもたち。集めた自然物(木の実や落ち葉)を使って遊び始めました。1学期から楽しんできた遊びにも、“秋”の素材が加わり、一層盛り上がっています。

## ★ ドングリの大工さんごっこ ★

ブロックでつくった形が、金づちに似ていると思ったある子が、廊下の板に打ち付けられていた釘を大工さんのように“トントン”とし始めたことがきっかけで生まれた遊び。



ここも“トントン”しておこう!



大工さんみたいでたのしいな!



どのドングリを使おうかな…。

「私たち大工さんだもんね」などと、話しながら、ブロックでつくった金づちで“トントン!”。幼稚園に小さな大工さんが登場しました。

大学キャンパスのコナラの木の下で細長いドングリを見つけた子どもたち。ある子が、「大工さんの釘みたい!」と言ったので、保育者が板の代わりになるよう段ボールを用意すると、ペットボトルを金づちにし、打ちだしました。

保育者が段ボールに小さな穴をあけておくと、その穴に合うドングリを探してペットボトルの金づちで打ち込んで遊んでいます。上手に打ち込めないときは、何度もチャレンジしています。

## ★ ドングリクッキー屋さん ★

ドングリを使ってどんな遊びをしたいのか?と問いかけたところ、出てきた意見から生まれた遊び。



大学キャンパスでの木の実拾いの後、「こんなにたくさんのドングリ、どうやって遊ぶ?」と子どもたちに尋ねると、「ドングリのクッキー屋さんしたい!」という意見が。



そこで、段ボールをいろいろな形に切っておくと、子どもたちがそれらをクッキーに見たててドングリやビーズのトッピングを始めました。



いらっしやいませ!

たくさんのクッキーができると、「いらっしやいませ!」「どれにしますか?」とドングリクッキーやさんの元気な声が響くようになってきました。

## ★ ドングリホッケーゲーム ★

ドングリを砂遊びで使っているシャベルで転がしたことから生まれた遊び



ある日、園庭でドングリを見つけた子どもたち。その小さなドングリを長いシャベルの先で転がして遊び始めました。

「先生!この間お外でしたみたいにドングリをコロコロしてゲームしたい!」との要望が。そこで子どもたちと一緒にラップの芯と牛乳パックでスティックをつくりました。「ドングリが遠くまで行っちゃう!」「じゃあゴールをつくってみよう!」とドングリを入れるゴールも登場しました。

## ★ 病院ごっこ・ドングリのお薬屋さん ★

1学期から病院ごっこを楽しんでいる子どもたち。ドングリを薬にして患者さんに渡し始めたことがきっかけで広がった遊び。



1学期に健康診断をうけた子どもたち。自分たちもお医者さんになってみたい!と遊びが始まりました。聴診器や額帯鏡(耳鼻科のお医者さんがよく使用しているもの)なども、保育者と一緒につくって、遊びが盛り上がっていきました。

集めたドングリを袋に入れて、「おなかのお薬です」と渡し始めた子どもたち。遊びが進むと、「飲みやすいお薬がいい!」「粉のお薬にしたい!」とアイデアが広がり、現在は割れたドングリの皮をむいて、すりつぶしたり、削ったりして、いろいろな種類の薬をつくっています。

## ★ アリさんごっこ・アリのアメ屋さん ★

園庭でたくさんのアリを見つけて観察しているうちに、アリになりきって遊び始めたことから生まれた遊び。



園庭でたくさんのアリを見つけた子どもたち。「先生!アリさんてチョコチョコ歩かね!」「ほら!こんな感じだよ」とアリになりきって遊ぶ姿が。

「先生!アリのお面つくって!」「アリさんは飴が好きなんだよ」「飴やさんもしよう」とイメージがどんどん広がり…。

「アリさんの巣もつくりたい!」と、自分たちが入れるほどの大きなアリの巣もつくり、そこから出入りして遊んでいます。

アリさんの行列みたいに並んでいこう!